

令和7年第2回笠間市教育委員会定例会議事録

- 1 招集日時 令和7年2月18日（火） 午後2時00分開議
- 2 招集場所 笠間市役所教育棟 教育委員会室
- 3 議事録署名人 吉 崎 静 夫
- 4 教育長及び出席委員
教育長
教育委員 4名
事務局 12名
- 5 傍聴人 なし
- 6 提出された議題（議事） 以下のとおり
- 7 会議の概要
 - (1) 開会
小沼教育長 午後2時00分開会を宣す。
 - (2) 議事録署名人の指名
小沼教育長 吉崎委員を指名する。
 - (3) 教育長の報告
小沼教育長 別紙により教育長事務報告をする。

小沼教育長 教育長のお事務報告が終わりました。委員の意見を求めます。

各委員 (特になしの声)

小沼教育長 それでは、教育長の報告については、以上のとおりとします。
 - (4) 議事
小沼教育長 それでは、議事に入ります。本日の議事「報告第1号」及び「議案第2号」については、人事案件及び議会提出案件となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、審議を非公開としたいと思いますがいかがでしょ

うか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 それでは、異議なしと認め、「議案第1号」及び「議案第2号」の案件を非公開といたします。

小沼教育長 それでは、「報告第3号 専決処分の承認を求めることについて」事務局より説明を求めます。

事務局 6ページをご覧ください。「報告第3号 笠間市第3子以降学校給食費免除実施要綱の一部を改正することについて」の専決処分の承認を求めることについてご説明いたします。理由につきましては、マイナンバー法の一部改正により、健康保険者証の廃止が令和6年12月2日に施行されることに伴い、関連する規則の改正を行いました。7ページをご覧ください。笠間市第3子以降学校給食費免除実施要綱の様式第3号中、「健康保険証」を削除したものです。8ページをご覧ください。新旧対照表です。改正後は、「住民票の写し等」となります。9ページは、改正後の様式第3号となります。説明は以上です。

小沼教育長 ただいま事務局より説明がありましたが、「専決処分の承認を求めることについて」は、別紙のとおり上程されています。これより質疑に入りますが、何かご質問等はございますか。

各委員 (特になしの声)

小沼教育長 それでは採決に入りますが、原案のとおり承認することに異議ございませんでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 異議なしと認め、「報告第3号 専決処分の承認を求めることについて」は、原案のとおり承認いたします。

【議案第1号】【議案第2号】 非公開

小沼教育長 以上で全ての議事が終了いたしました。

(5) その他

小沼教育長

続きまして、その他の事項に入ります。それでは、一人ずつ雑感を共有していただきたいと思います。まずは戸田委員からお願いします。

戸田委員

2月7日に令和6年度市町村教育委員会研究協議会(東京)に参加しました。分科会では、不登校対策についてと部活動地域移行についてグループ協議をしましたが、両方とも笠間市の資料がとても丁寧でわかりやすいとほめていただきました。まず不登校対策ですが、多くの市町村で校内フリースクールを行っており、小学校でも行っているところがありました。名称が校内サポートルームというところがあり、私としては一般の方にはその方がイメージしやすいのではないかと思います。校内フリースクールという名称は決められているものなののでしょうか。

小沼教育長

補助金の関係で、校内フリースクールとなっていますが、笠間市では、例えば「つばさ」など、学校でそれぞれに名前がついています。子どもたちには、各学校の名前で伝えています。

戸田委員

校内フリースクールという名称は、インパクトはあるのですが、私としては校内サポートルームという方がいいと思いました。分科会で愛知県みよし市から、不登校は、小学校高学年や中学校で多くなってくるけれど、その原因は、小学校に入った低学年時に起きたきっかけの対応がうまくできていなく尾を引いているのでは、ということで、低学年にサポートを多めにつけてみたらうまくいきました、という話がでました。また、文部科学省の方からの説明でもあったのですが、保護者同士のつながりを作ったり、保護者に対して情報支援を自治体がうまくやってみよう、という話がありました。不登校になると、保護者にうまく情報が伝わらないので、自治体がうまく情報を提供しようということでした。保護者同士が集まる機会を作ったら、進路のことや悩みなどを共有することができよかったという話が出ました。部活動地域移行については、分科会参加5市のうち笠間市と魚沼市は進んでいるけれど、あとの3市はまだ進んでいないということでした。魚沼市は、半分くらい地域移行が進んでいるそうです。なぜ、うまく進んでいるのか尋ねたところ、平日も地域移行を推し進めているということでした。笠間市と同じようにコーディネーターがいるそうです。笠間市は、カサマジニアクラブという名称が立ち上がっているところが非常にインパクトがあり、形を作ると進めやすいのだろう、参考になるという意見でした。また、部活動

地域移行に対する予算が少なすぎるという意見に対し、文部科学省の方は、これは実証事案なので予算が少ないけれど、令和8年度以降は、予算をたくさんつけるように頑張るので期待してください、という話でした。

小沼教育長

部活動地域移行は、先日中学校の校長会で、市として平日週3日の活動で統一するという、もう一つは、人数の少ない部活動は縮小し、統合していくということがまとまりました。この件につきましては、後日資料を作成いたします。

小沼教育長

続いて、鳥羽田委員お願いします。

鳥羽田委員

私は「小学校」というドキュメンタリー映画を見てきました。東京の小学校が舞台で、1年生と6年生に焦点を当てて、1年間を追っていくというものでした。この映画を撮った監督は、小学校は日本の学校、中高がインターナショナルスクール、大学はアメリカの大学で学んだ女性の方でした。この方が、自分の軸になるところ、規律や責任を持つということは小学校で学んだと本人は言っていて、小学校の教育がよかったということで映画を撮られたということでした。映画では、教科の授業より、特別活動や行事などの活動が中心になってきますが、6年生が1年生の面倒を見たり、運動会の練習の結果、できなかったことができるようになったり、具体的には縄跳びができなかった子が、運動会の種目のために練習をしてできるようになるということで、非認知能力である、頑張る力、意欲や人とのコミュニケーション能力が成長していく様子がみられるとてもいい映画でした。外国でもこの映画の評価は高く、フィンランドでは4か月のロングランになっているそうで、日本の特別活動が海外で評価されているということでした。笠間市の先生も特別活動をどんどん進めていただきたいという感想を持ちました。

小沼教育長

続いて、廣原委員お願いします。

廣原委員

私は2月2日に笠間公民館で行われた、宮西達也先生の講演会に参加しました。準備が大変だったと思いますが、とても楽しい講演会でした。講演会当日だけではなく、前日にもいろいろなイベントがあったようですが、子育ての楽しさを親が知ることが、子育てをする上では重要なことだと思いました。壇上上がったお父さん方も読み聞かせをすごく楽しんでいました。このような子育てに関する講演会や体験をする場は、ほかのお父さん

お母さん方の様子を知ることできるので、若いお父さんお母さんに、このような機会を与えてほしいと思いました。お父さんお母さん同士のつながりを持つのはなかなか難しいので、このような機会をどんどん作り、PRしてもらって、続けてもらいたいと思いました。

小沼教育長

続いて、吉崎委員をお願いします。

吉崎委員

今秋に全日本教育工学研究協議会全国大会がつくば市であります。そこで私が指導助言しているつくば市立竹園東小学校の授業公開が、その大会の準備のためにありました。指導助言には4回入りますが、先日2回目に行ってきました。笠間市にも参考になると思いましたので三点、紹介します。一点目が教科学習でのICT活用、二点目が探究学習、いわゆる総合的学習の時間でのICT活用、三点目が生成AIの活用です。4つの授業公開があり、生成AIの活用に関しては、6年生の算数で、正比例反比例を何のために学ぶのか、日常生活でどのようなときに使われるのかということ、中学、高校へ行った時の関数につながるわけですが、このようなことを生成AIと対話しながら学んでいました。次に探究学習ですが、こちらは「つくばスタイル」といって、3年生がグループに分かれて、それぞれのテーマについてわかりやすくまとめ、保護者に公開します。子どもにとって、保護者に見せる、人に向かって発信するというということは意欲が高まるようで、ICT活用は、人に向って発信するということに対して、非常に効果的だと思います。教科学習は1年生と2年生を見ました。1年生は国語の時間を活用して、来年度小学校に上がる幼稚園児と保育園児に、小学生になるとどのようなことをするのか紹介するために、何が聞きたいかタブレットをもってインタビューに行っていました。園児が1番聞きたいことは、給食の内容、掃除、休み時間の過ごし方のようなものでした。それをまとめて、幼稚園児や保育園児が来た時に発表できるよう資料作りをしていました。これも人に向かって発表するためにタブレットを使うということで、効果的にICTを使っていました。2年生は、最初にあったチョコレートから残りのチョコレートの数を数えるものでした。その際個別最適な学びは、「習熟度の差、学習速度の差といった、量的な差である」とよく言われますが、もう一つ質的な差、学習のタイプというのでしょうか、頭の中で図形が動かせる子、具体的な操作をしないと図形が動かせない子、パソコン上の画面で動かせる子という三タイプがいるように思いました。ICTのようなタブレットを使う場合、どの学習タイプの子に本当に向いているの

かということを考えていくためには、個別最適な学びはどうしても量的な学びに寄りがちですが、この質的な個人差も考えないといけないと感じました。

小沼教育長 そのほかございますか。

各委員 (特になしの声)

(6) 閉会

小沼教育長 午後3時25分閉会を宣す。

8 議決事項

報告第3号	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第1号	笠間市いじめ調査委員会からの調査結果報告書について	可決
議案第2号	令和7年第1回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	可決